# キリスト教の失敗②

シリーズ〜さよならキリスト教〜 2024/6/9

# これまでに3回あった宣教の拡大期

### •戦国時代

- はじめてもたらされた福音
- •カトリック修道士らによる宣教
- •急拡大>禁教

#### •明治時代

- •禁教が解ける
- •プロテスタントによる初めての宣教
- ・教育者たちによる宣教拡大>戦争

### •第二次大戦後

- ・敗戦後に再開された宣教
- 1%の壁を破れず衰退

# 開国から宣教再開

- •ペリー来航(1853年)
  - ・アメリカ合衆国特派大使ペリーが4艘の黒船を引き連れて来航。江戸幕府と「和親条約」を結ぶ
- 開港・居留地内の宣教
  - 「日米通商条約」(1858年7月):「絵踏」の廃止と 居留地内の宣教活動の自由
  - 横浜・函館・長崎・神戸・新潟の五港を開港
- •続々来日する宣教師たち
  - \*米聖公会:J・リンギス、C・ウィリアムス、米長老教会:C・ヘボン、米蘭改革派:G・F・フルベッキ、S・R・ブラウン、D・B・シモンズ·・・

# 「切支丹高札」の撤廃

### •キリシタンたちの復活

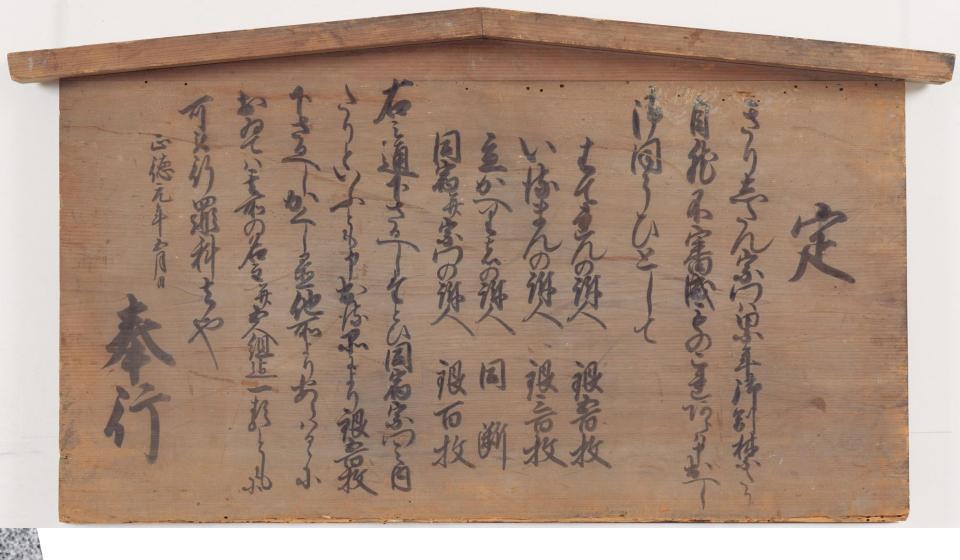
・1865年大浦天主堂が完成し、その後続々と「隠れキリシタン」たちが教会に復帰した

#### •続いていたキリシタン迫害

・「浦上崩れ」(1790-1867):長崎市浦上地区のキリシタンへの迫害は明治政府になっても続いた

#### •不平等条約改正

- 岩倉具視、伊藤博文・大久保利通らが条約改正 を求めて欧米を訪ねるも、禁教ゆえに断られた
- ・1873年(明治6年)2月24日、明治政府は「切支丹高札」を撤廃した!

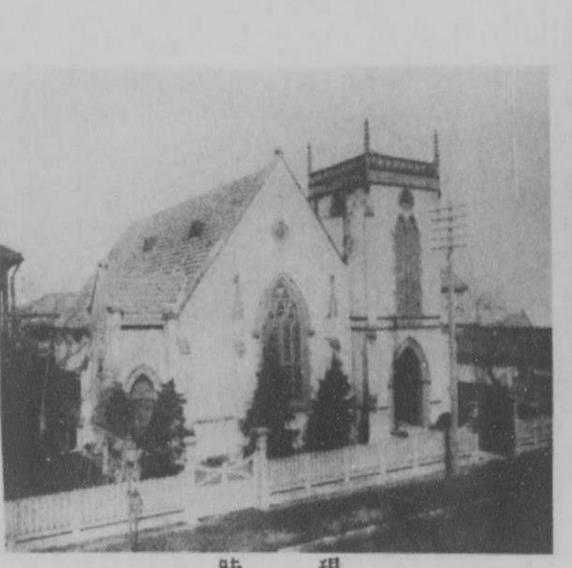


「きりしたん宗門は累年御禁制たり」 申し出た者には バテレンの訴人 銀500枚 イルマン銀300枚 (岐阜県歴史資料館所蔵)

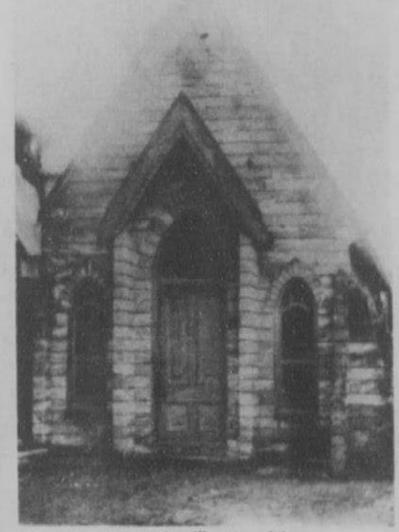
# プロテスタント教会の黎明

- •最初のプロテスタント教会「日本基督公会」
  - ・改革派宣教師J・H・バラは68年、横浜居留地内に「聖なる犬小屋」と呼ばれた会堂を建てた.
  - ・いずれの教派にも属さない無教派主義と独立自 治を標榜した
- ・「第一回プロテスタント宣教師会議」(1872年)
  - ・無教派主義が指示され、聖書の和訳事業が可決
- •最初のプロテスタント信者たち
  - ・徳川幕府の崩壊によって職を失った、旧幕臣や旧 佐幕派の武士たちが洋学・英語を学ぶために宣 教師に近づき、その人格に感化されて入信した

### 會教岸海濱橫



**诗** 現



時當立創

# ミッションスクールの設立

- •宣教師と共にクリスチャン教師たちも来日
  - 札幌農学校(1876年)初代教頭:W·S·クラーク

表 1 ミッション・スクールの設立状況

設立年代	学校数 (プロテスタント)	学校数 (カトリック)	合計
明治0年代	20	-	20
明治10年代	35	4	39
明治20年代	13	5	18
明治30年代	4	5	9
明治40年代	1	4	5

注: 久山康編『日本キリスト教教育史 思潮篇』キリスト教学校教育同盟,1993, p. 27-31, 上智学院新カトリック大事典編纂委員会編『新カトリック大辞典』研究社, p. 1485-1493より作成。

### 主なミッションスクール

- 1863/11 明治学院
- 1870/9 フェリス女学院
- 1872/11 梅光学院
- 1874/5 立教学院
- 1874/11 青山学院
- 1875/9 平安女学院
- 1875/10 神戸女学院
- 1875/11 同志社
- 1877/9 立教女学院
- 1878/1 梅花学園
- 1879/6 プール学院
- 1879/12 活水学院

- 1884/9 桃山学院
- 1884/10 関東学院
- 1884/11 東洋英和女学院
- 1886/5 東北学院
- 1886/6 弘前学院
- 1886/9 宮城学院
- 1886/9 松山東雲学園
- 1886/10 捜真学院
- 1886/10 広島女学院
- 1889/9 関西学院

# ミッションスクールはなぜ生まれたか?

### ・明治政府と宣教団体の思惑が一致

- ・西洋文明を若い世代に学ばせたい政府と、キリスト教を伝えたい宣教団体の願い
- ・外国の資金で学校を建て、学費を出し、教師ま で派遣してくれる

### •生み出された多くの若いクリスチャンたち

- 毎年数千人以上の若者がミッションスクールを 通して信仰を持ち、福音を広めた
- ・1886年に誕生した広島女学院でも、戦前まではほとんどの学生が受洗し、放課後は本通りにトラクト配布に行った

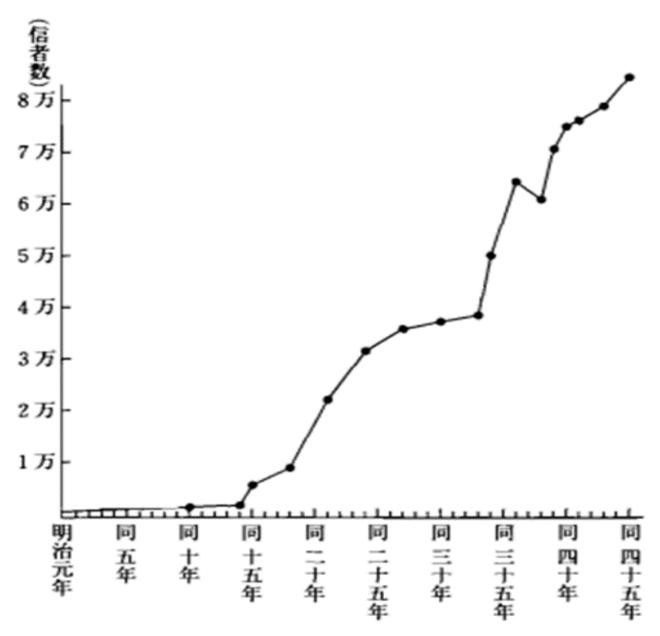
### 軍国主義(天皇の神格化)の逆風

- •1889年(明治22年)「大日本帝国憲法」発布
  - 「天皇ハ神聖ニシテ犯スベカラズ」
- ・翌年「教育二関スル勅語(教育勅語)」
  - 「勅語」とは天皇のお言葉のこと
  - ・古来天皇は徳をもって統治してきた…もって皇室 を扶翼すべきである
  - •内村鑑三の「不敬事件」: 勅語に「低頭」しなかった
- •1899年(明治32年)「文部省訓令12号」
  - 学校内での宗教上の教育や儀式を禁じる
  - ・ミッションスクールは信仰の戦いを強いられた

### 明治時代の宣教拡大

- ・三大源流(バンド)
  - 横浜 札幌 熊本におけるクリスチャンのグループ
- •「1883年のリバイバル」
  - ・横浜海岸教会の祈祷会においてペンテコステの 日のような出来事が続いた
  - ・この動きは関東の教会やミッションスクールに波及し、翌年には同志社に広がり、一度に200人が 洗礼を受けた
- クリスチャンは1898年には12万人に!
  - ・内務省の調査による

表 5 明治年間プロテスタント信徒数の変遷



工藤栄一【近代日本社会思想史研究】教文館、1989年, 97頁。

# なぜ勢いが止まったか?

### ・教派主義による分裂

・当初は「無教派主義」を標榜していたが、高札撤 廃後、教派主義に堕してしまった(教団の箱庭)

### ・軍国主義への迎合

- 日清戦争(1894年)・日露戦争(1904年)・第一次 世界大戦(1914年)
- ・天皇を中心とした軍国主義を教会もミッションス クールも受け入れ、擁護した
- ・宣教が主に都市・知的階層にとどまった
  - ・地方(農村部)では「邪教」のイメージが強かった

### 戦国時代と明治時代の共通点

### •時代の変革期

国が混乱し、不安定な状況下で、人々は大きな不安に襲われていた

#### •外国人宣教師

- •戦国時代:スペイン・ポルトガル
- ・明治時代: 欧米から多くの宣教師が来日した

### •国家体制による弾圧・影響

- ・徳川幕府による完全なる禁教
- ・「大日本帝国憲法」によるキリスト教教育の後退、 軍国主義への迎合

# 「CUM DEO LABORAMUS」 (クム デオ ラボラムス)

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

コリントの信徒への手紙一 3章9節